

停車ブレーキ中にドアが開いた件について

2020 年 12 月 30 日、山口線 本俣賀駅に停車するブレーキ中に列車のドアが開いた事象が発生しました。
このたびは、ご心配をおかけし、申し訳ございませんでした。

- 1 発生日時 2020 年 12 月 30 日（水） 午後 7 時 00 分頃
- 2 場 所 山口線 本俣賀駅
- 3 列 車 上り普通列車 2556D（ワンマン） 1 両編成 お客様：7 名
益田駅（午後 6 時 55 分）発 山口駅（午後 8 時 44 分）着
- 4 概 況 上記列車運転士は本俣賀駅に停車するブレーキを扱っている際、「戸ジメ表示灯」が消灯したのを認めました。停車後、直ちにドアの確認を行ったところ、進行方向右側の後ろ側のドア（ホームと反対側）が開いているのを認め、転落、お怪我をされたお客様がおられないことを確認しました。
その後、当該のドアを施錠して締切りにして本俣賀駅を 9 分遅れて発車しました。

※お客様に転落・お怪我等はありません。

※本俣賀駅での乗降はありません。

※「戸ジメ表示灯」とは、ドアが開くと消灯し、ドアが閉まると点灯する装置です。

- 5 原 因 ドアの一時的な不具合と考えられますが、詳細については調査中です。